

1. 秦 浩

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 公園について	<p>本市には、子ども達が遊べる公園が複数あるが、ボール遊びができる公園は少ない。そこで以下のことを伺う。</p> <p>① 本市でボール遊びができる公園の現状は。また新たにボール遊びができる公園をつくる計画があるか。</p> <p>② 公園の遊具の点検及び耐用年数</p> <p>③ 宮司地域には大きな公園がない。宮司コミュニティセンターに芝生広場はあるが、遊具は劣化して一部補修された状況である。新たな遊具の設置等の考えは。</p>	
2. 小・中学校のプール施設について	<p>今年度もプール授業の時期になった。本市ではプール授業の民間委託が計画的に進められている。そこで以下のことを伺う。</p> <p>① 現在、プール授業を民間委託で行っている学校は。また、今後の計画は。</p> <p>② 現在、学校のプールで授業を行っている学校のプール施設の状況は。</p> <p>③ 現在、学校のプールで授業を行っている学校での安全対策は。</p>	

2. 中村 清隆

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 公共下水道事業について	<p>全国的に下水管の老朽化が原因で管が破損し、道路が陥没するなど、重大な事故が起きている。その復旧には多大な費用と時間がかかるため、下水管の維持管理において、法令に基づいた適切な検査の実施が重要と考える。</p> <p>下水管検査の目的は、下水道の健全性を保ち、異常や劣化を早期に発見するためである。これにより、道路の陥没や浸水、悪臭などの問題を未然に防ぎ、公衆衛生や水環境を守ることができる。</p> <p>国は「下水道法」によって、公共下水道管理者に対し、点検と維持修繕の義務を定めている。点検等にも多大な費用がかかるが、本市の公共下水道事業は、地方公営企業であり、その事業に伴う収入によってその経費を賄い、自立性をもって事業を継続していく「独立採算の原則」が適用されている。</p> <p>そこで、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本市の下水道事業の現状と課題 ② 浄化センターにおける受益者負担 ③ 下水道管路等の点検内容と頻度 ④ 下水道事業の歳入構成状況 ⑤ 今後の下水道施設に係る費用の推移 ⑥ 今後の公共下水道事業の見通し 	

<p>2. スポーツをする環境について</p>	<p>最高気温が40℃以上に達する日は気象庁の予報用語で酷暑日と定められている。これは従来の猛暑日(35℃以上)では危険な暑さを十分に伝えきれない状況が増えていることを受けて、新たに設けられたものである。発生地域や日数は年々増加傾向にあり、適切な暑さ対策が重要である。</p> <p>そこで、スポーツをする上での環境整備等について、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① スポーツをする環境下での本市の暑さ対策 ② 学校も含めた公共施設の空調設備 ③ 学校も含めたグラウンドの環境整備 ④ 障がい者スポーツの施設環境整備 ⑤ スポーツを普及・推進するための環境整備の方向性 	
<p>3. 市職員の働く環境について</p>	<p>人口が増加する中で、国や県から移管される業務も増加傾向である。</p> <p>そこで、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 業務遂行における現状と課題 ② 適正職員数の考え ③ 事務作業の効率化の考え 	

3. 井手口 忠信

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1.生活困窮者自立支援法に基づく支援事業について</p>	<p>物価高騰や雇用環境の変化により、市民の生活困窮リスクは長期化・多様化している。単なる経済的困窮にとどまらず、社会的孤立、就労への不安、家庭環境の問題など、複数の課題が重なり合うケースも増えている。こうした状況の中で、生活困窮者自立支援法に基づくセーフティネットの役割は、これまで以上に重要になっている。本市でも各種の自立支援事業が実施されているが、複合化する課題に十分対応できているのか、現状と課題を整理する必要があると考える。</p> <p>そこで、以下の6事業について、本市の取り組み状況を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自立相談支援事業 ② 住居確保給付金 ③ 就労準備支援事業 ④ 家計改善支援事業 ⑤ 一時生活支援事業 ⑥ 学習支援事業 	

4. 大山 隆之

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 稼げるまちづくりと企業誘致方針について</p>	<p>市長の公約やまちづくり指針で掲げられている「稼げるまち」は、臨時行財政運営方針でも基本となる考え方として引き継がれている。また、令和8年3月に発表された企業誘致方針もこの考えに基づいたものと考え、以下を問う。</p> <p>① 臨時行財政運営方針に「人も企業も行政も稼げるまちづくり」とあるが、対象の優先度として、まず先に稼げるようになるべきものは人、企業、行政のどれと考えるか。</p> <p>② 臨時行財政運営方針は対象期間を2年間と定めているが、稼げるまちについては2年間でどのような政策を実現していく予定なのか。</p> <p>③ 企業誘致方針に本市の課題を記載しているが、どのように解決を図る予定か。</p> <p>④ 企業誘致方針の具体的な取り組みでは、相談があった企業への情報提供などがある。受け身の取り組みが多くみられる中で企業誘致をどのように実現させていく予定か。</p>	

5. 倉元 敏徳

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 防災について	<p>近年、全国的に大規模火災が発生しているが、本市においても様々な要因による火災が発生している状況である。</p> <p>また、大雨などの自然災害も激甚化している。</p> <p>そこで、以下の点を伺う。</p> <p>① 令和6年度及び令和7年度の市内の火災の発生状況</p> <p>② 昨年の災害を経験し、避難指示があった場合、今までより避難者数が増えることも予想されるが、市民に郷づくり交流センターなどの指定避難所の場所の周知は行っているか。</p> <p>③ 災害復旧が完了していない被災地の大雨対策</p>	
2. 産廃処理場及び雑品スクラップ事業所等の課題に対する対応について	<p>① 本市にある産廃処理場及び雑品スクラップ事業所数を伺う。</p> <p>② 産廃処理場及び雑品スクラップ事業所が本市に開設される場合、指導や注意喚起等を行っているか伺う。</p>	

6. 榎本 博

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 福津市中小企業振興基本計画について	<p>本計画は、本市の経済の健全な発展と市民生活の向上を図ることを目的に策定され、令和7年4月から令和12年3月までの5年間で計画期間として事業が進められている。</p> <p>そこで、令和7年度の事業内容と結果及び令和8年度の事業内容と実施状況を伺う。</p>	
2. 津屋崎地区観光施設整備事業について	<p>旧魚正の建物及び土地を民間事業者へ譲渡する観光施設整備事業が令和8年度主要事業の概要で示された。</p> <p>そこで、本事業の進捗状況を伺う。</p>	
3. 大峰山キャンプ場の運営について	<p>令和7年9月から大峰山キャンプ場は民間事業者が運営にあっている。</p> <p>そこで、これまでの運営状況と市の関わりを伺う。</p>	
4. 地域未来戦略について	<p>本年5月、国は「地域未来戦略」推進について、都道府県及び市町村に対して地方創生の新しい取り組みとして示した。本市では2030年を目標年度として「まちづくり基本構想」を掲げ、「福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等が進められている。</p> <p>そこで、国が示した「地域未来戦略」の推進について本市の考えと対応を伺う。</p>	

7. 石田 まなみ

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. SOSを見逃さない地域づくりに向けた包括的相談体制の再構築について	<p>近年、生活困窮、ひきこもり、孤立、孤独死など複雑な課題が増えている。しかし、深刻化してから支援につながるのでは遅いと考える。</p> <p>これまでも孤独死予防や地域のつながりの必要性を一般質問で取り上げてきたが、今回はその受け皿となる相談体制の在り方について伺う。</p> <p>① 相談業務における専門性の確保と相談機能の充実</p> <p>② 郷づくり推進協議会などの地域コミュニティと連携した早期発見・早期支援</p> <p>③ 予防的投資の視点に立った包括的相談体制の整備</p>	

8. 山本 祐平

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 学校給食におけるアレルギー等の対応について</p>	<p>学校給食におけるアレルギー対応は子どもたちの命に関わる問題として慎重で確実な対応が求められる。しかし、アレルギー対応が必要な子どもの数は増え続けており、日本学校保健会の全国調査では、調査が初めて行われた平成16年と最新の令和4年を比べると、食物アレルギーの有病率が約2.5倍となっている。そのため、現場で除去食等の対応をする教職員の負担は増加している。</p> <p>また本市の学校給食では令和7年度から牛乳の選択制が導入された。これはアレルギー対応だけでなく、食に対する考え方やフードロスへの観点からも効果的で先進的な取り組みである。</p> <p>これらを踏まえ、以下について伺う。</p> <p>① 牛乳選択制導入以降のアレルギー以外の牛乳停止数</p> <p>② 各小中学校におけるアレルギー対応の相違点</p> <p>③ 教職員に対し、アレルギー対応に関する指導をどのように行っているか。</p>	

<p>2. いじめを中心とした社会課題への対応について</p>	<p>いじめは教育現場だけではなく、地域全体で向き合わねばならない社会課題である。いじめや不登校の数は年々増加しているが、そのいじめの背景には学校だけでなく、家庭や地域での問題が隠れている事も少なくない。こども家庭庁は、学校や教育委員会任せにしないいじめ対策として「学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の開発・実証事業」に取り組んでいる。</p> <p>昨年度に一般質問した際には年度や学校ごとにいじめの認知率に大きなばらつきがある等の課題があったが、いじめ問題に対してしっかりと取り組んで行くとの事だった。</p> <p>それらを踏まえ、以下について伺う。</p> <p>① 令和7年度におけるいじめの現状と、例年との相違点</p> <p>② 学校現場におけるいじめ対応や相談体制の限界についての認識</p> <p>③ 本市のいじめに対する学校外からのアプローチに関する現状と必要性についての認識</p>	
---------------------------------	---	--

9. 中村 晶代

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 公共施設の予約の流れについて	<p>公共施設のインターネット予約をする場合、公共施設予約システムで利用者情報を事前登録、窓口で利用者の本登録、システムで施設を仮予約、窓口等で支払い、担当課が承認することで本予約となり、当日利用することができる。別の施設を利用する場合は、これらの複数段階を施設ごとに行う必要がある。オンライン予約と言いながら実態としては窓口手続きが前提となっており、利用者が複数の窓口を回らなければならないことに対して、市民からは複雑、煩雑で不便との声がある。少しでも市民の負担を軽減する対策は。</p>	
2. 自治会の未加入者への公平な情報伝達について	<p>近年、生活様式の多様化も重なり、自治会に入らない、また脱退する人が増え続けているが、市民の生命と財産を守る防災情報や、日常の行政サービスなどを公平に市民に届けることは市の責務と考える。広報ふくつや市公式LINEだけでは不十分と考えるが、対策は。</p>	
3. 災害発生時の安全対策について	<p>昨年夏の大雨災害では、人命が失われ、本市でも大変に辛く大きな災害となった。県の河川改良工事は未だ道半ばであり、応急処置にとどまっている中、今年も梅雨時期を迎えている。人命を守るために、情報が届きにくい人への伝達を含めた安全対策は。</p>	

10. 岩下 豊

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 誰もが安心して暮らせるまちづくりについて	<p>令和8年度までが計画期間である「第3期福津市障がい者計画」の理念は「障がいのある人もない人も、互いに人格と個性を尊重しあい、地域で安心して暮らせる、共生のまち福津」となっている。障がいがあっても安心して暮らせるまちにするには、当事者にあった支援制度の充実が必要と考える。</p> <p>同計画では、10の分野別施策の展開を掲げている。そのうち、以下の3施策について、現時点の取り組み状況とその評価を伺う。</p> <p>① 生活支援の充実 ② 保健・医療の充実 ③ 療育・教育の充実</p>	
2. 地域公共交通の充実について	<p>本市では昨年西鉄バス勝浦線が廃止になり、今年は西鉄バス津屋崎線が減便となる。昨年の一般質問で本市の公共交通の課題への問いに対し、市長は、公共交通の維持が非常に厳しい状況であり、維持するためには利用者数の増加が不可欠と答弁している。利用者数を増加させるには、公共交通の更なる利便性向上が必要と考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>① ふくつ乗合タクシーの実績を踏まえた今後の展開 ② 市の交通将来像「暮らしやすさを実感できる公共交通体系」に対する現時点の見解</p>	

11. 豆田 優子

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 香害（化学物質過敏症）への取り組みについて	<p>令和5年6月、令和6年6月、そして令和7年9月の定例会で、香害（化学物質過敏症）から市民の健康を守るための対応について一般質問を行った。そこで、その後の市の取り組みについて、以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 香害（化学物質過敏症）の周知、啓発 ② 実態調査 ③ フレグランスフリーの取り組み 	
2. 学びの機会をすべての子どもに保障するための取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 福津市のインクルーシブ教育の考え方と現状について ② 特別支援教育就学奨励費の現状と今後について 	

12. 尾島 武弘

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 古墳の管理について	<p>古墳群清掃委託料の令和8年度予算額は、前年の予算額から70%以上削減され、世界遺産の「新原・奴山古墳群」も例年の清掃管理が出来なくなっている。平成29年（2017年）に世界遺産に登録され、本市はそれ以降、新原・奴山古墳群を観光スポットとし、草刈り等の適正管理を行い、観光客誘致を進めてきた。今回、予算額削減に伴い、全41基の古墳を含め周辺のほとんどの草刈りがされず、景観を損ねつつある。</p> <p>新原・奴山古墳群を含む津屋崎古墳群の今後の管理方針と観光スポットとしての考えを伺う。</p>	
2. 農業用施設等の現状及び課題について	<p>農業用施設には様々なものがあり、農業者が作物を栽培し、出荷、販売するために欠かすことができないものであるとともに、本市の基幹産業の農業を守り育てるものである。</p> <p>昨年8月の大雨の影響で農地や水路、ため池、農道等の農業用施設に大きな被害が出た。復旧が進んでいるが、現在の復旧状況を伺う。</p> <p>また、災害以外にも毎年農業者や農業団体から施設の補修、新規設置等の要望が農林水産課に届いている。その要望内容と進捗状況及び課題について伺う。</p>	

13. 中村 恵輔

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 令和7年8月豪雨災害の検証を踏まえた防災・減災体制の強化について</p>	<p>令和7年8月の豪雨災害では、市内各地で住家、道路、河川、農地、農業用施設、ため池等に大きな被害が発生した。市は災害対応の検証を行い、課題と今後の対応を整理している。</p> <p>今年も出水期を迎える中、去年被害にあわれた市民にとって重要なのは、検証を踏まえて今年の備えがどう変わったのかという点である。防災・減災は一度の検証で終わるものではなく、毎年、ハード面・ソフト面の両方でブラッシュアップしていく必要がある。</p> <p>特に、一度でも氾濫や浸水被害が発生した箇所については、再度災害防止の観点から、流域ごとに被害要因を整理し、市でできること、県・国と連携すべきこと、地域と共有すべきことを明確にする必要があると考える。</p> <p>そこで、令和7年8月豪雨災害の検証を踏まえ、今年の出水期に向けて具体的に改善・実装した対策、流域ごとの被害要因と対策、市単独では対応が困難な課題に対する県・国・近隣自治体との連携について伺う。</p>	

14. 戸田 進一

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 豪雨対策について	<p>雨水管理総合計画を来年3月末までに策定する予定だが、実際に改修事業に着手する時期等については未定である。有効な抜本的計画は当然必要だが、溢水・浸水があった河川流域の住民は、いつ再び起こるかを心配しながら毎日を過ごしている。そんな思いに寄り添い「安心して暮らせる」ための当面の対応等が必要である。よって、今年度の市の取り組みの進捗状況および今後の対応・計画について伺う。</p>	
2. 通学路の安全について	<p>通学路の安全のために、2年ごとに関係機関と連携し、通学路交通安全プログラムを策定している。また、新年度になって、地域の住民より「通学路として危険な場所がある。」との声も寄せられた。通学路交通安全プログラムや寄せられた声を踏まえ、通学路の安全確保に向けた取り組みについて、市の見解を伺う。</p>	
3. 地域経済のにぎわいづくりについて	<p>令和6年4月に福津市中小企業振興条例が施行された。また、本年度の市政運営の指針の3つの柱のひとつとして「稼ぐ」まちづくりを掲げている。そこで、今後の地域経済活性化のための市の考えについて伺う。</p>	

15. 佐伯 美保

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 新設小学校の通学路の整備等について	<p>子どもたちが安全に登下校できる通学路の整備は開校前に完了している必要がある。令和4年に公表された「新設校建設事業の現状について」では、通学路の整備方針が示されていた。また、新設小学校開校準備委員会設置要綱第2条第4号で、委員会が検討及び協議する事項として「通学路に関すること」を規定している。そこで以下について伺う。</p> <p>① 「新設校建設事業の現状について」の「新設小学校道路整備事業全体計画図」で示された整備検討対象の7か所の通学路の整備状況等</p> <p>② 通学路の整備における課題と対策</p> <p>③ 新設小学校開校準備委員会における通学路に関する検討及び協議の進捗等</p>	
2. 小中学校の学校図書館の整備状況等について	<p>学校図書館は子どもたちの育ちと学びにとって重要な設備であり、文部科学省は第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定し、この計画に基づく地方財政措置が講じられている。そこで以下について伺う。</p> <p>① 学校図書館の役割と機能についての認識等</p> <p>② 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づく地方財政措置の目的についての認識等</p> <p>③ 小中学校の学校図書館の整備状況と課題等</p>	
3. 松林への薬剤散布等について	<p>薬剤散布による松くい虫防除事業について、実施状況と課題等について伺う。</p>	